

2020 年度 事業報告書・収支決算書

期間：2020年4月1日～2021年3月31日



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター

<目次>

はじめに	2
I. 事業報告	4
II. 講師派遣・各種委員会等	16
III. 法人の運営に関する事項	19
IV. 2020年度 決算報告書	22

はじめに

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事 渡 邊 一 馬

せんだい・みやぎNPOセンター（以下、当センター）の2020年度は、新型コロナウイルス感染予防の対応をしつつ、市民社会の実現を目指し4つの軸で活動しました。コロナ対応で一部計画から遅延した部分もありましたが、会員みなさんからのご支援、そして、当センタースタッフが現場をしっかり守ってくれたお陰で、概ね順調に進んでいきます。この場を借りて、改めて感謝を申し上げます。

1つ目の軸は「サポートセンター運用業務の深化」です。各サポートセンターは感染予防対策に努めながら市民活動の支援を継続しました。来館者数はコロナ禍の影響がない2018年と比べ激減（仙台市市民活動サポートセンターは約70%減、多賀城市市民活動サポートセンターは約50%減）しましたが、市民からの活動相談や困難を抱える当事者からの相談はむしろ増え、それらの相談に対応することで、新たな市民活動が生まれました。支援の方法は、施設に人を集める手法から、オンライン活用が進みました。両センターともとうとうYouTubeチャンネルを開設しています。みなさまもチャンネル登録をよろしく願います。

2つ目の軸は「地域課題の発掘と解決に向けた具体の活動の推進」です。コロナ禍が深刻になってきた昨年4月に宮城県内の中間支援団体と連携し、県内で活動するNPOにアンケート調査を行い、困難を抱える方々を支援するNPOもまた困難に陥っていることが明らかになりました。その内容をまとめ、宮城県や仙台市に要望書を提出、具体的な支援施策を引き出しました。また、一般社団法人パーソナルサポートセンター、特定非営利活動法人都市デザインワークスと連携し、「社会課題解決のプラットフォーム」構想を具現化した取り組み「せんだい・みやぎソーシャルハブ」を開始しました。オンラインでの情報交換を合計24回、延べ参加者数は300名を超え、多様な主体が参加することで新たな取り組みが4つ生まれました。しかし、年度の後半には、オンライン情報交換の参加者が固定化し、新たな取り組みが生まれにくくなってきました。2021年度は、場のつくり方をあらため、より多くの主体が参画できる体制を構築します。

3つ目の軸は「組織基盤強化に向けた取り組み」です。新たな役員候補の発掘を進めたこと、新たなスタッフを採用できたこと、そして、組織内の価値規範を整理しました。価値規範については、ニューズレターでお知らせしていた通り、外部専門家に伴走してもらいながら、スタッフ全員で話し合いつくり上げました。価値規範のタイトルは「共に旅する仲間たちとの約束」。旅の目的地は「市民社会の実現を諦めない」です。市民社会の実現に向けて、会員のみなさんとご一緒できれば幸いです。

最後は「情報発信事業」です。長らく発行が止まっていたニューズレター「みんな」をA4両面1ページにスリム化し、発行再開できました。すでに何度かお手元に届いているかと思えます。「みんな」はこれまで紙だけでお送りしておりましたが、当センターの公式ページから閲覧できるようにもなりました。河北新報夕刊の連載企画も順調に続いております。

2021年度は、引き続き感染予防対策を講じながら、新しい市民協働のあり方を打ち出していく一年となります。また、次の中期計画の策定も行います。引き続きご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。

2021年 6月13日

I. 事業報告

事業名	分類	(1) サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条(活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘と育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業	
	令和2年度 仙台市民活動サポートセンター管理運営業務			
目的	「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」の基本理念に基づく協働によるまちづくりを推進するために、仙台市民活動サポートセンターの管理・運営を行う。			
実施概要	<p>仙台市民活動サポートセンター(以下、仙サポ)は、新たな指定管理期間(令和2~6年度)に入り、地域の問題が市民や関係機関との協働により可視化され、可視化された課題を解決できるプロジェクトが次々と生まれ、企業も含む多様な市民が課題解決に参画している状態を目指していくことを掲げた。</p> <p>1. 令和2年度施設運営(2020年4月1日~2021年3月31日)</p> <p>(1)実績 総利用件数/人数 8,376件(前年度比49%)/20,807人(前年度比33%) 相談件数 679件(前年度比89%) うち活動相談314件(前年度比107%)</p> <p>(2)概略 ○基本機能(施設利用、情報収集提供業務、相談機能) ・新型コロナウイルスの影響(臨時休館・利用休止、人数制限、および団体の活動自粛等)により、利用件数・利用人数が大きく減少。 臨時休館:2020年4月11日~5月31日 利用休止2021年3月27日~5月11日 交流サロン利用休止:2020年3月5日~8月31日、2021年3月27日~5月11日 ・情報収集提供業務では、新型コロナウイルスに関する支援情報などについて、速報性を意識し頻繁にブログを更新(投稿記事数404件。前年度比138%)。ブログの訪問者(ユニークユーザー:UU)は前年度比141%の57,491件。閲覧数(ページビュー:PV)は前年度比131%の777,079件と大きく増加した。 ・相談は施設利用の問い合わせも含めた全相談件数は679件と前年より減少したが、活動相談は314件と増加。活動相談のうち新型コロナウイルスに関連した相談は120件で、全体の38%を占めた。資金的な課題のあった団体には仙台市の「市民活動支援金」を個別に案内し、申請につなげた。</p> <p>2. 令和2年度事業運営</p> <p>(1)実績</p>			
	実施事業		主な実績	
	情報収集提供事業	市民活動、協働等に関する情報収集提供業務全般		情報受付 2,297件 (前年度比64%)
		機関誌『ばれっと』の発行		年12回発行
		動画を活用した情報発信		動画再生 2,356回 ※2021年3月31日時点
	相談事業	アウトリーチ相談(アシ☆スタ等)		起業相談 11件
		協働コーディネート		協働相談 8件
	人材育成事業	支える市民を増やす	いづいっちゃんねる	6回 141人参加
		活動力強化講座	はじめて講座	2回 24人参加
		活動力強化講座	テーマ別講座	2回 56人参加
発表の場づくり		2団体が展示発表		
協働に関する理解促進及び機会創出事業	協働事例の発掘・理解促進	協働の現場トーク	動画再生 123回 ※2021年3月31日時点	
	多様な主体の交流の場	マチノワ ラウンジ	4回 18人参加	
	情報・課題を共有する場	プロジェクト	4プロジェクト始動	
	社会課題解決のプラットフォーム	オンライン情報交換会	24回 319人参加	
調査研究事業	多様な主体の参加による協働体制の構築		ミーティング8回	
	企業の社会貢献活動に関するヒアリング		KDDI 東北総支社	

実施概要	<p>(2)概略</p> <p>①情報収集提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスで市民活動団体のイベント自粛があった影響もあり、紙媒体(特にチラシ・ポスター)の情報取扱いが減少(チラシ前年度比 52%、ポスター前年度比 44%)。ニューズレターは前年度比 90%。 ・10月から始めたイベント情報掲示板(WEB 掲載+協力施設へのチラシ配架)は 163 件の利用があり、WEB+施設配架が 109 件と全体の 67%。WEB 掲載のみ希望 41 件(25%)、施設配架のみ希望(8%)。WEB での広報希望が9割以上を占め、主流となっている。 <p>②相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を受けてオンラインでの学習支援を始めた学生団体がある一方で、コロナ禍の影響を受けて解散や活動休止をする団体からの相談も散見された。また、活動を継続している団体からは、コロナ禍での活動方法への戸惑いや葛藤、団体内での意見の対立(活動継続を求める声と自粛を求める声)、事業収入減についての相談が寄せられた。 ・個人からの相談でも、同様にコロナ禍で困っている人たちの役に立ちたい(ボランティアや寄付など)という相談がある一方で、生活困窮などで支援団体を探しに来るケースも見られた。 <p>③人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差したメディアである TOHOKU360 と協働し、動画配信番組「いづいっちゃんねる」を開設した。仙サポとしては初めての試みとなる動画配信をしたことで、施設利用者とは異なる新たな層へとアプローチできた。 <p>④協働に関する理解促進及び機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン情報交換会(全 24 回開催)にのべ 319 人が参加。市民活動団体、企業経営者、大学関係者、市議会議員、行政職員など、さまざまな立場の人が活発に意見交換を行う場を提供できた。情報交換会から4つのプロジェクトが立ち上がり、課題の深掘りや実際のアクションに結び付いた。 <p>⑤調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題解決プラットフォームとして「せんだい・みやぎソーシャルハブ」が立ち上がった。オンライン情報交換会を開催し、新型コロナウイルス感染症の蔓延が社会的弱者に及ぼす影響について情報収集・意見交換を行った。 ・仙サポと定期的に情報交換している KDDI 株式会社東北総支社へ調査研究事業のメンバーでヒアリングを行い、社会貢献活動や協働・官民連携、市民活動団体に対する印象などについて率直な意見をうかがった。
成果	<p>①オンラインや動画配信を活用し、コロナ禍での市民活動促進・協働推進を模索した</p> <p>ブログでの積極的な情報発信を始め、オンラインでの情報交換会の実施、動画配信番組の開始など、施設での集客ができない状況下で、新たなツールを用いながら市民活動促進・協働推進の方法を模索した結果、ブログでの発信力の強化、これまでの施設利用者にとどまらない多様な層の情報交換会への参加、動画コンテンツの視聴などがみられた。</p> <p>②コロナ禍における市民活動団体・市民への相談対応</p> <p>施設の利用件数・利用人数が減る中で、活動相談の件数は増加。そのうち4割近くがコロナ禍と関連する相談だった。施設で相談を受けるだけでなく、こちらから団体へ状況をヒアリングし、支援情報を提供するなどしたことが相談件数の増加にもつながった。</p>
課題	<p>①新型コロナウイルス感染拡大を踏まえたサービス提供の検討</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大は、市民活動の現場でも、オンラインの活用や情報発信手法の変更などを急速に推し進めている。一方で、当事者の自助グループや高齢者を対象とした活動、地域でのサロン活動など、一律にオンライン化を進められない活動もある。そのような状況を踏まえて、仙サポでもオンラインへの対応を進めつつ、現場への感染対策支援など双方について検討する必要がある。</p>
備考	<p>担当課:仙台市市民協働推進部市民協働推進課</p>

事業名	分類	(1) サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条(活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘と育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業
	令和2年度 多賀城市市民活動サポートセンター管理運営業務		
目的	多賀城市との協働により、市民活動支援を中心に幅広い地域づくりの促進を目的とする公共施設の運営を通して、多賀城市を中心とした地域における市民活動の発展と活性化を図り、市民自治を強化する。		
実施概要	<p>多賀城市市民活動サポートセンター(以下、TSC)は2008年6月開館。市民活動の拠点施設として、NPOや自治会・町内会、生涯学習団体等による地域づくりをサポートしている。令和2～4年度3年間業務委託の1年目にあたる。</p> <p>●令和2～4年度施設運営方針</p> <p>○目指す多賀城のまちの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通する課題や手段ごとに、自治会・町内会、NPO、企業、学校、行政等のさまざまな主体が連携している。 ・さまざまな年代の方が、多様な方法で地域に関わっている。 →それによって、防災、高齢者、障がい者、子育てなど、地域のさまざまな課題が自治の力によって解決されている。 <p>○3年後(令和4年度末)の姿</p> <p>5つ程度の現状の枠を超えた動きが出ている。 複数の動きでは、成果が見え始めていることにより、新たな連携が生まれたり、成果が出ている動きに他の主体も参加し始めたりしている。</p> <p>●令和2年度の主なトピック</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍における市民活動・地域活動の状況に沿ったプログラムを実施した ○WEBを活用した情報発信を強化した ○具体的な課題に多様な主体で協力して取り組んだ <p>【利用者数等】</p> <p>総利用件数 3,878件(前年度比69%) 総利用人数 15,520人(前年度比60%) 相談件数 363件(前年度比88%) →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日～5月23日は一部休館(貸室・フリースペース使用不可)、5月24日～10月31日は貸室・フリースペースの利用人数の制限により、前年度に引き続き、総利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がなかった平成30年度と比べ減少している。貸室利用人数は前年度比60%、印刷機利用件数は前年度比54%の利用にとどまった一方で、相談対応件数は前年度比88%、ニューズレター掲示件数は前年度比93%、ブログ訪問者数は前年度比84%と、コロナ禍でも情報の受発信等は継続している様子がうかがえる。また利用制限がなくなったあとは、徐々に利用は戻りつつある。</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>34本実施 参加者数:のべ1,416名 参加団体:90団体(共催含む)</p> <p>◎4～7月にかけて、NPO、自治会・町内会、企業、支える人材に、コロナ禍での活動の状況や困りごと、工夫等に関するヒアリング・アンケートを実施。事業立案に反映させた。</p> <p>(1)地域の担い手育成事業</p> <p>①雑貨市 団体作品・商品の展示、インスタグラム開設、多賀城市立図書館でワークショップ 蔦屋書店・多賀城市立図書館で販売会など、期間や方法を分散し、商品を通して市民活動に出会う機会を創出した。</p> <p>②いちから塾 「NPOいちから塾」1回、「小さなアクション講座」1回、「出前いちから塾」2回(高校2回、大学1回)を実施。</p> <p>③自己分析とパワーアップ事業 「NPO・市民活動運営なんでも相談会」「広報相談会」「資金調達講座」を実施、「市民活動お役立ち情報」の3テーマを改訂。</p>		

実施概要	<p>(2) 自治会・町内会支援事業</p> <p>① 現状把握と多様な地域人材の参加促進事業 年代別人口割合推移グラフや昭和時代の地域写真・町内会新聞を館内展示、「おらいの町内会新聞のつくり方講座」「データ de なにすやっ?講座」「座談会:3.11 その時まちは〇〇これからのまちを考える」の実施</p> <p>(3) 連携による課題解決を進める事業</p> <p>① 連携の場づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TSR会議(オンライン開催)を6テーマで活動する団体から課題を共有。 ・多文化共生事業(共催)では外国人技能実習生との交流サポーター育成講座(全2回)、防災研修、陶芸体験と交流会を実施。 ・困窮者への支援では、多賀城フードバンク推進交流会への参加、フードボックスを館内に設置し、NPO法人いのちのパンへ寄贈。 <p>(4) 情報発信事業</p> <p>① フリーペーパー「tag」発行(2,000部発行) 月刊から、ページを増やし季刊発行へ変更。</p> <p>② コロナ禍における市民向け情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Zoom 活用講座 基礎講座」3回、「Zoom 活用講座 ステップアップ講座」1回、「Zoom 活用講座 出前講座」 ・YouTube チャンネルを開設し、団体情報動画5本公開。
成果	<p>(1) 地域の担い手育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなアクション講座では、自分の興味関心や得意なことに、コロナ禍での困りごと・大変なこと(課題)の視点をプラスして、これから取り組めそうなことを考えることができた。また、NPOいちから塾でNPOの基礎知識を得ることで、活動開始に向けて動き出す方が出ている。 ・NPO向けの運営に関する相談会では、個別の課題を深掘りすることで新たな視点で団体を見直すことになり、人材の発掘や広報ツールの開発などの具体的な改善につながった。 ・町内会向けの事業を通して、町内会役員が地域課題への興味関心を持ち、3町内会が新たに新聞発行に取り組むなどの事例が生まれるとともに、他の町内会のノウハウや、多世代、他分野の視点で地域に関わるきっかけを提供することができた。 ・事業や相談を通して4団体が立ち上げ・法人化に至った。 <p>(2) 連携による課題解決を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度実施のTSR会議 Vol.2「だれも取り残さない社会」、平成31年度の実践的な取り組みを受け、市民活動団体・企業・市内公共施設等と連携した大代地区での多文化共生事業につながった。 <p>(3) 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の「tag」に加え、YouTube チャンネルの開設やインスタグラムを活用することで、コロナ禍の中でも市民活動に関する情報が得られる環境を作ることができた。 ・WEB会議ツールの使い方講座によって、コロナ禍で活動する手法を広めることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度「多賀城市まちづくりアンケート」において40.7%の方が「市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに今後参加してみたい」と答えた。活動に参加してみたいと思っている層の参加につながるよう、情報発信と掘り起こしの工夫が必要である。 ・町内会役員への気づきや新たな動きを、町内会活動に関わったことがない方に広げることや、他の町内会や他分野との取り組みにつなげていくことが必要である。 ・課題を知る場であるTSR会議から、課題解決に向けて各主体が動き出せるような場づくりをしていく必要がある。 ・課題解決に向けた持続可能な関係性を構築するとともに、市民に広く地域課題を知ってもらう機会を増やしていく。 ・オンラインツールはこれまで活動に参加していなかった層の参加を促進するメリットがあるが、情報弱者を生む可能性というデメリットもあるため、参加の機会を多様化するという視点をもつ必要がある。
備考	<p>詳細は、ウェブサイト【https://www.tagasapo.org/】に掲載している報告書をご確認ください。</p> <p>担当課: 多賀城市総務部地域コミュニティ課</p>

事業名	分類	(1)サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条(活動の種類と事業)2項 (1)人材の発掘・育成に係る事業 (2)相談・コーディネート事業 (3)マネジメントサポート事業 (4)ネットワーキング事業 (5)調査研究および政策提言事業 (6)情報サポート事業
	令和2年度 岩沼市市民活動サポートセンター運営支援事業		
目的	岩沼市市民活動サポートセンターの運営支援を行い、市民の参画による協働のまちづくりを推進する。		
実施概要	市民活動サポートセンターの運営についての助言、相談員派遣、市民向け講座を実施した。		
	1. 市民活動サポートセンターの運営相談、情報、資料提供等		
		実施日	助言等の内容
	1	令和2年 5月8日(金)	スタッフ研修の内容、視察先の選定、相談会、活動助成金などについて意見交換
	2	6月12日(金)	新型コロナウイルス感染対策、市民活動団体アンケートの回答について意見交換
	3	7月10日(金)	市民交流プラザの運営上の課題について意見交換
	4	9月11日(金)	みやぎNPOプラザと共催する講座の内容について意見交換
	5	10月9日(金)	9月の相談会での相談内容について、相談者の団体の状況等を共有
	6	11月13日(金)	相談予約の際のヒアリングについて意見交換
	7	12月11日(金)	施設主催事業での新型コロナウイルス感染対策について情報提供
8	令和3年 1月8日(金)	印刷機の利用可否判断(営利企業など)について、他施設での取扱い・判断方法などを紹介	
9	2月12日(金)	コロナ禍における施設主催事業について意見交換	
10	3月12日(金)	貸室の仮予約キャンセルについて意見交換	
2. 市民活動交流企画運営アドバイス、研修会企画運営等			
(1)交流企画「いわサポ de ミニ発表会」企画運営アドバイス・出席 日時:令和3年1月29日(金)13:00-16:30 会場:いわぬま市民交流プラザ			
(2)研修会「市民活動のお悩み解決講座 無理せず続ける活動のコツ」実施 日時:令和3年2月12日(金)13:30-15:00 会場:いわぬま市民交流プラザ 多目的室1・2 市民活動を継続する上での課題について、解決するためのヒントを伝える講座を実施。			
(3)その他「岩沼市市民活動助成金説明会」出席 日時:令和2年7月10日(月)13:00- 会場:いわぬま市民交流プラザ 交流室			
3. 市民、団体からの相談業務 市民活動相談会で相談員として年間6件の市民、団体からの相談に対応した。 相談内容は、団体の立ち上げ相談、資金調達・助成金相談、コロナ禍での活動について等。			
4. スタッフ研修 岩沼市市民活動サポートセンターのスタッフ向けに情報収集・発信について研修を実施した。 日時:令和2年6月12日(金)11:00-12:00 会場:いわぬま市民交流プラザ 交流室2 ①令和2年2月14日(金)10:30-12:00 スタッフの疑問点・知りたいことの洗い出し ②令和2年3月13日(金)10:30-12:00 施設の設定目的、「非営利組織・市民活動を知る」 ③令和2年3月27日(金)10:30-12:00 「助成金を知る」			
成果	①コロナ禍での施設運営や主催事業の実施について、他施設の状況なども伝えながら助言した。 ②相談件数は減少したが、コロナ禍で自分たちの活動方針が間違っていないのではないかと感じていた団体の相談対応を通して、前向きな意思を引き出し、活動再開への道筋をつけることができた。		
課題	新型コロナウイルス感染対策として施設の臨時休館などが続き、相談の減少や予定していたスタッフ研修が中止になるなどの影響が出た。コロナ禍での施設運営や市民活動団体支援の方法を検討する必要がある。		
備考	担当課:岩沼市さわやか市政推進課		

事業名	分類	(2)地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条(活動の種類と事業)2項(6)情報サポート事業																																																																																																							
	社会課題解決のプラットフォームの運用																																																																																																									
目的	仙台・宮城の市民活動支援や他セクターの協働を生み出す																																																																																																									
実施概要	<p>「せんだい・みやぎソーシャルハブ」として、2020年5月にFacebookに情報交換用のグループページを立ち上げた。当面はコロナ禍の情報共有や支援策の検討を中心に進めた。</p> <p>運営は、一般社団法人パーソナルサポートセンター、特定非営利活動法人都市デザインワークス、当センターの3団体が連携して行っている。</p> <p>1. オンライン情報交換会の運営 コロナ禍での対応をテーマに「せんだい・みやぎソーシャルハブ」を立ち上げ、社会課題解決のプラットフォームの運用を開始した。セッションとして「オンライン情報交換会」を24回開催し、のべ319人の参加があった。</p> <p>参加者には、NPOや一般社団法人スタッフ、市民活動団体、企業経営者、学生、大学の教員、研究者、市議会議員、行政職員など、県外からの参加者もあった。</p> <p>2. 情報発信 ①Facebookグループページの開設 社会課題について情報交換できる場としてFacebookグループページを開設。</p> <p>2021年3月末時点で参加メンバーは約350名。オンライン情報交換会の開催告知に活用している他、参加メンバーそれぞれから、気になったニュースの共有、助成金情報の提供、オンライン情報交換会に関連したテーマの補足情報、オンライン情報交換会から立ち上がったプロジェクトの進捗状況、データの共有などが行われている。</p> <p>②noteでの情報発信 「せんだい・みやぎソーシャルハブ」で得られた知見や情報を市民に公開する目的でnoteを作成、オンライン情報交換会の報告や関連情報を掲載した。https://note.com/socialhub</p>																																																																																																									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日時</th> <th>テーマなど</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2020年 6月3日(水)20:00~21:30</td> <td>困窮×コロナ×仙台宮城</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6月5日(金)20:00~21:30</td> <td>子ども・教育×コロナ×仙台宮城</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6月7日(日)15:00~16:30</td> <td>協働×コロナ×仙台宮城</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6月21日(日)15:00~16:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6月28日(日)15:00~17:00</td> <td>深堀ヒアリング~生活困窮編~</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7月5日(日)15:00~17:00</td> <td>情報の届け先と届け方を考える</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7月12日(日)15:00~16:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7月19日(日)15:00~16:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7月30日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>8月11日(火)18:00~18:45</td> <td>定例情報交換会</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>8月17日(月)18:30~19:30</td> <td>定例情報交換会</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>8月27日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>9月10日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>9月24日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>10月8日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>10月29日(木)19:00~20:30</td> <td>定例情報交換会</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>11月13日(金)19:00~20:30</td> <td>定例情報交換会</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>12月3日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>12月17日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>2021年 1月7日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>1月21日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>2月8日(月)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>2月26日(金)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>3月18日(木)19:00~20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計 319人</td> </tr> </tbody> </table>		日時	テーマなど	参加者	1	2020年 6月3日(水)20:00~21:30	困窮×コロナ×仙台宮城	32人	2	6月5日(金)20:00~21:30	子ども・教育×コロナ×仙台宮城	28人	3	6月7日(日)15:00~16:30	協働×コロナ×仙台宮城	18人	4	6月21日(日)15:00~16:00	定例情報交換会	13人	5	6月28日(日)15:00~17:00	深堀ヒアリング~生活困窮編~	21人	6	7月5日(日)15:00~17:00	情報の届け先と届け方を考える	16人	7	7月12日(日)15:00~16:00	定例情報交換会	15人	8	7月19日(日)15:00~16:00	定例情報交換会	10人	9	7月30日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	10人	10	8月11日(火)18:00~18:45	定例情報交換会	8人	11	8月17日(月)18:30~19:30	定例情報交換会	14人	12	8月27日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	14人	13	9月10日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	11人	14	9月24日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	8人	15	10月8日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	9人	16	10月29日(木)19:00~20:30	定例情報交換会	12人	17	11月13日(金)19:00~20:30	定例情報交換会	8人	18	12月3日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	10人	19	12月17日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	9人	20	2021年 1月7日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	9人	21	1月21日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	13人	22	2月8日(月)19:00~20:00	定例情報交換会	11人	23	2月26日(金)19:00~20:00	定例情報交換会	9人	24	3月18日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	11人			
	日時	テーマなど	参加者																																																																																																							
1	2020年 6月3日(水)20:00~21:30	困窮×コロナ×仙台宮城	32人																																																																																																							
2	6月5日(金)20:00~21:30	子ども・教育×コロナ×仙台宮城	28人																																																																																																							
3	6月7日(日)15:00~16:30	協働×コロナ×仙台宮城	18人																																																																																																							
4	6月21日(日)15:00~16:00	定例情報交換会	13人																																																																																																							
5	6月28日(日)15:00~17:00	深堀ヒアリング~生活困窮編~	21人																																																																																																							
6	7月5日(日)15:00~17:00	情報の届け先と届け方を考える	16人																																																																																																							
7	7月12日(日)15:00~16:00	定例情報交換会	15人																																																																																																							
8	7月19日(日)15:00~16:00	定例情報交換会	10人																																																																																																							
9	7月30日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	10人																																																																																																							
10	8月11日(火)18:00~18:45	定例情報交換会	8人																																																																																																							
11	8月17日(月)18:30~19:30	定例情報交換会	14人																																																																																																							
12	8月27日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	14人																																																																																																							
13	9月10日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	11人																																																																																																							
14	9月24日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	8人																																																																																																							
15	10月8日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	9人																																																																																																							
16	10月29日(木)19:00~20:30	定例情報交換会	12人																																																																																																							
17	11月13日(金)19:00~20:30	定例情報交換会	8人																																																																																																							
18	12月3日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	10人																																																																																																							
19	12月17日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	9人																																																																																																							
20	2021年 1月7日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	9人																																																																																																							
21	1月21日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	13人																																																																																																							
22	2月8日(月)19:00~20:00	定例情報交換会	11人																																																																																																							
23	2月26日(金)19:00~20:00	定例情報交換会	9人																																																																																																							
24	3月18日(木)19:00~20:00	定例情報交換会	11人																																																																																																							
			計 319人																																																																																																							

3. 課題解決へ向けたアクションとプロジェクト

以下の4つのアクション・プロジェクトが立ち上がった。

①若者・学生の社会的孤立防止プロジェクト

コロナ禍の学生の貧困・孤立をテーマに、学生へのヒアリング調査、情報発信の勉強会などを実施。コロナ禍による困窮者に対しアウトリーチ型支援をするための議論を重ね、若者をターゲットに情報を届けるプロジェクトが立ち上がった。現在、一般社団法人ワカツクと学生団体「はぐね」で若者支援プロジェクトを実施中。

②フォーラス×アーティスト×社会課題の可能性を考える

仙台市青葉区一番町にある複合商業施設フォーラスが、同区大町のギャラリーTURNAROUNDとの協働でフォーラス店内に開設したアートスペースにて、アートが社会や地域の課題解決とコラボレーションしてどのようなことができるかを考えるトークセッションを7月25日(土)15:00～16:30に開催した。アーティスト、NPO、企業など異なる分野の5人が登壇して、それぞれの立場から社会課題解決のための意見交換を行った。



▲トークセッションの様子。
写真右から 関本欣哉さん (TURNAROUND 代表) 向当 (こうとう) 和貴さん (仙台フォーラス営業企画グループ)、田川浩司さん (都市デザインワークス/せんだい・みやぎソーシャルハブ)、佐々藤さん (美術家)、小椋亘さん (フードバンク仙台代表)

③仙台市基本計画中間案に対するアクション

2020年10月8日(木)18:00～19:00

「基本計画中間案パブコメ&市民協働を考えるオンライン意見交換」を実施し、そこでの議論を踏まえ、せんだい・みやぎソーシャルハブとしてパブリックコメントを提出した。主に、「市民協働」「市民力」の視点からの意見や、NPOなどサードセクターや市民活動団体に対する認識(位置付け)、今後の地域社会における地元中小企業の役割などについて、参加者の意見をまとめて提出した。
なお、12月には仙台市が募集していたパブコメについて意見交換する場として「パブコメ読書会」というテーマを掲げて定例会を開催した。その際には「もっとラフに、現在進行中の内容やアイデアが披露されて、そのことについて市民が考えて意見をするような場所が必要だ」という意見が見られた。

④宮城県大学中退リサーチ勉強会

2021年2月13日(土)12:30～14:30

宮城県内の各大学の中退状況について、せんだい・みやぎソーシャルハブの参加メンバー1人がデータの収集・整理を行った。そして、レポート作成を通じて見えてきた課題を共有するために、レポートの報告会を開催した。

成果

・せんだい・みやぎソーシャルハブの場に一定の価値を感じている人が現れており、社会課題の発見・共有の土台となるネットワークの形成が少しずつ進行している。

課題

・情報発信については、主に情報交換を行うFacebookと、セッションでの記録をアーカイブするnoteの運用を開始したところであるが、今後より効果的な発信について、情報発信の専門家等にも協力を仰ぎながら、検討を進める必要がある。

備考

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	第4条（活動の種類と事業）2項 （4）ネットワーキング事業 （5）調査研究および政策提言事業
	他団体との連携による政策提言に関する事業		
実施概要	<p>全国のNPO支援センターとの連携のもと、政策提言に関する情報交換や進捗状況の共有など行った。展開に応じて宮城県内、東北ブロックなど連携して推進している。</p> <p>○NPO法人会計基準協議会 ○NPOの法制度等改革推進会議 ○民間NPO支援センター・将来を展望する会（CEO会議）</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の拡大により、NPOへの影響とその支援に関する動き</p> <p>○「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関する宮城県内NPO法人緊急アンケート」の実施 実施期間：2020年4月5日～10日 実施主体：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 認定特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる 認定特定非営利活動法人 地星社 一般社団法人 みやぎ連携復興センター 宮城県内の市民活動団体、NPO法人等、150件の回答を得た。</p> <p>○新型コロナウイルス拡大防止対策下におけるNPOの存続危機と雇用維持に対する支援に関する緊急要望書の提出 2020年4月23日、宮城県知事、仙台市長へ、特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事大久保朝江氏と当センター代表理事土佐昭一郎と提出した。</p> <p>○「新型コロナウイルス」NPO支援組織社会連帯（CIS） 2020年4月16日に呼びかけがあり、趣旨に賛同。オンライン会議への参加。 〔趣旨〕新型コロナウイルスの影響が拡大する中、NPOへも大きな影響が出ている。経営面への影響と、支援活動へのニーズの拡大の両面があり、NPO自身も感染リスクを抑えながら、活動を行うことが求められている。一方で未知のリスクのため状況が流動的であったり、対策が固まっていない面もあり、NPOが求める情報を統一的に提供する仕組みが整備されておらず、迷いが生じている。 この困難な状況を乗り切るために、NPO支援センターがそれぞれの取り組みを持ち寄り、情報共有しながらNPO支援を充実させるためのプラットフォームを作る。また、共同アクションやキャンペーンを通じて、全国のNPOが一丸となってお互いの活動継続や社会課題の解決を図ることを目指す。</p>		
	備考	アンケート結果の概要版と要望書は、当センターのサイトへ掲載した。 https://minmin.org	

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条（活動の種類と事業）2項 （2）相談・コーディネート事業 （5）調査研究および政策提言事業
	その他の支援事業		
実施概要	<p>○令和2年度宮城県新型コロナウイルス感染症民間非営利活動支援事業補助金事業</p> <p>〔事業概要〕 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて宮城県内のNPO等が、専門家へ相談（活動を継続するために各種助成金等の申請に係る相談、運営相談、税務相談、法律相談等）を行う場合、相談に係る費用の一部を助成するもの。専門家とは、社会保険労務士、公認会計士、税理士、弁護士、中小企業診断士その他公的資格を有する者をいう。</p> <p>〔期間〕 2020年8月～2021年2月</p> <p>※ 専門家への相談には至らなかった。</p>		
	<p>○宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業 受益者アンケート業務</p> <p>〔業務概要〕 宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業では、国の事業活用しながら、NPO等の非営利活動が行っている被災地の復興や被災地支援活動を支援している。 NPO等の復興・被災者支援の活動が今後も継続されるよう、NPO等の復興・被災者支援の活動に関する効果を把握するため、今年度、本事業を活用し行われている復興・被災者支援の活動について、活動を通じて支援を受けられた方（受益者）を対象としたアンケートを実施し、受益者の方々が支援を受けられたことによる効果などを把握するもの。</p> <p>〔期間〕 2020年11月～2021年3月</p> <p>〔対象団体〕 「令和2年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」補助事業者 19団体</p> <p>※ 回収されたアンケートを既定の集計表に取りまとめて提出した。</p>		
備考	委託元：宮城県		

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条 (活動の種類と事業) 2項 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業
	1. みんなみんファンド 2. 物品提供		
目的	地域のNPOが必要とするさまざまな経営資源を企業・各種団体・市民など社会一般から集め、それをNPOに仲介・提供することでNPOを支援し、地域の活性化を図る。また、資源提供を通して、企業とNPOの新しい関係を作り、地域社会に対する参加を促進する。		
実施概要	1. みんなみんファンド <ul style="list-style-type: none"> 株式会社日専連ライフサービスより、NPOカードの拠金よりご寄付(83,586円)をいただいた。 2. 物品提供 <ul style="list-style-type: none"> 明治ホールディングス株式会社の株主よりお菓子の寄贈仲介 <ul style="list-style-type: none"> 2020年12月、明治ホールディングス株式会社の株主より、CSR活動の一環として、 一障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体 一東日本大震災により広域避難をしている子ども達を主体とする団体、または広域避難をする子ども達を支援する団体 一東日本大震災の被災地で子どもを対象に活動をしている団体 一東日本大震災以降に発生した自然災害の被災地で子どもを支援する団体 上記に該当する団体へのお菓子寄贈プログラムに、特定非営利活動法人日本NPOセンターを通して下記の5団体へ提供の仲介を行った。(五十音順) <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人アフタースクールぱるけ ・ARIママネット ・特定非営利活動法人奏海の杜 ・子育てのご近所さんたがいま、おかえりの会 ・一般社団法人めるくまーる 		
成果	・台風19号の被害を受けた丸森町で活動している団体へ新たに提供することができた。		
課題	・みんなみんファンドの今後の運用に関して、継続検討。		
備考	1. ご寄付 : 株式会社日専連ライフサービス、他 2. 提供元 : 明治ホールディングス株式会社株主		

事業名	分類	(4)情報発信事業	定款 第4条(活動の種類と事業) 2項 (6)情報サポート事業
	1. ニュースレター「みんな」 2. 書籍販売部みんな堂 3. ウェブ系情報発信(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック) 4. 河北新報夕刊「志民の輪」への執筆・監修		

目的	1. センター概要と実施事業の進捗、成果について、会員や全国の中間支援組織などに伝える。 2. 本事業に加え、NPOセクターの動き、宮城県域での動きなどを市民へ伝える。		
	1. ニュースレター「みんな」 スタッフによる広報チームを編成し、企画・執筆調整・編集等分担し、2020年度から発行を再開(A4両面2ページに刷新)。配布対象は、当センター会員、仙台市市民活動支援センター、多賀城市市民活動支援センター等、発行部数は300部。		

No.	発行日	主な内容
113	2020年 10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言 多様な人たちで「誰も取り残されない社会」を創る ・せんだい・みやぎNPOセンターへの入会・会費納入・寄付のお願い ・コロナ禍でのせんだい・みやぎNPOセンターの動き(コロナ禍における団体運営支援、各サポートセンターでの対応) ・インフォメーション 地域のために何かできないかと、もやもやしているすべての人へ(冊子紹介)
114	2021年 1月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言 社会の変化とともに成長していく組織へ ・「みんな」バックナンバー ウェブサイト掲載のお知らせ ・「価値規範の構築を進めています」代表理事 渡邊一馬 ・インフォメーション 多賀城から、だれも取り残さない社会を目指し、持続可能な関係性を探るための報告書Vol.2

実施概要

2. 書籍販売部みんな堂
11種の書籍を取り扱っている。新刊の仕入れは行わなかった。
3. ウェブ系情報発信(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック)
- ①ホームページ: 当法人主催および協力イベント情報やお知らせ。
4月には緊急アンケートの結果と宮城県と仙台市への要望書についても掲載した。
 - ②ブログ : 基本的に団体のフロー情報を掲載。リニューアル後、未活用のまま。
 - ③フェイスブック: 講座やイベントの現在進行形の情報提供。メインターゲットは、フェイスブックユーザーとそのネットワーク。事業等の情報を随時投稿した。
投稿数は40。河北新報夕刊「志民の輪」への掲載内容の紹介や、自然災害による被災に応じて支援活動情報を拡散。発信の頻度に応じて、リーチ数は上がり、ファン以外の反応が多くある。
 - ④ツイッター : ブログやホームページへの誘導ツール。リニューアル後は未活用。
4. 河北新報夕刊「志民の輪」への執筆・監修
2019年4月より、河北新報夕刊月曜版に「志民の輪」が始まり、当センターと認定NPO法人杜の伝言板ゆるると交互に隔週で担当している。
掲載内容は、特集記事「とびらを開く」では課題の見える化を、オピニオン「わたしの視点から」では、活動者や実践者の目線からの問題提起や読者への参加の呼びかけを、イベント・話題「ふみだす info」では読者の参加を促す情報提供する3つのコーナーである。「とびらを開く」は、河北新報ONLINE NEWSから見る事ができる。<https://www.kahoku.co.jp/special/spe1179/index.html>
編集体制は、理事・スタッフ、外部協力者の3~4名のチームで分担。半年1クールとして、体制を見直ししながら取り組んでいる。企画会議は1~2ヶ月に1回開き、取材先や執筆依頼者の選定等行っている。

掲載日	とびらを開く	わたしの視点から お名前/ご所属・役職(敬称略)	ふみだす info
2020/4/8	ネット上で自己点検 コロナ禍 浮かぬ新生活の助けに 認定NPO法人Switch	文化通じたつながりが鍵 福地成 みやぎ心のケアセンター副センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の活動支え 20年 ・悩み事 気軽に話して ・成長促す社会経験を
4/27	コロナ禍に向き合う 路上生活者支援の仙台夜回りグループ	情報必要な人に伝達役を 太田貴 仙台市市民活動サポートセンターセンター長	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病を考える ・一人一人に寄り添う ・若者の自死予防周知
5/18	人にも優しい食 提案 NPO法人環境保全米ネットワーク	コロナ禍に災害対策再考 三浦隆一 東日本大震災支援全国ネットワーク宮城地域担当	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳で困り事を解決 ・子育ての悩み話して ・共助の仕組み協力を
6/1	来年へ思いつなげる 「とっておきの音楽祭」中止 今年はラジオで とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI	工夫しながら活動再開 中津涼子 多賀城市市民活動サポートセンターセンター長	<ul style="list-style-type: none"> ・震災伝承活動学ぼう ・コロナ禍 避難に備え ・舞台芸術の情報発信
6/15	地域と若者 結び育む 丸森に新たな集いの場 オープンへ	「自分でやる」伝え続ける 佐野哲史 一般社団法人復興応援団代表理事	<ul style="list-style-type: none"> ・地図とコンパス手に ・歩くための道 維持を ・若い力で活動支えて
6/29	子どもの学びを応援 高専生の市民活動団体「名取天文台」	復興の先 自分の言葉で 石塚直樹 東北学院大学地域連携センター特任准教授	<ul style="list-style-type: none"> ・海と港町の風景画を ・中高生の学習を支援 ・子どもの居場所提供

実施概要

掲載日	とびらを開く	わたしの視点から お名前/ご所属・役職(敬称略)	ふみだす info
7/13	家庭のCO ₂ 排出減訴え ストップ温暖化センターみやぎ	地域の担い手 自分の手で 坂本一 一般社団法人まなびの森代表理事	・中村医師の写真展示 ・認知症介護 悩み共有 ・若者の自立支援探る
7/27	学び合い ヒント提供 子育てサポート 楽っこ	明確なビジョンで前進へ 石田祐 認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事	・雑がみでアート作品 ・非正規職女性が主題 ・音楽で子どもを支援
8/17	学習指導 きめ細かく 外国人の子ども・サポートの会	環境に配慮し消費活動を 海藤節生 NPO法人水守の郷七ヶ宿理事長	・自由な感性 詩で表現 ・海浜植物観察しよう ・漫画で認知症を解説
8/31	大猫の保護活動支援 cat&dog&me	気候非常事態 何ができる？ 長谷川公一 尚絅学院大学大学院特任教授	・おもちゃ修理の出席 ・農と人をつなぎ 10年 ・社の再生企画 参加を
9/14	子どもに笑顔届ける NPO法人HERO	社会的包摂と芸術活動 及川多香子 NPO法人アートワークショップすんぶちよ代表	・親子で安心の散歩を ・手作り品購入で寄付 ・震災10年 手記寄せて
10/5	障害者の挑戦後押し みやぎセルフ協働受注センター	自分にできること 探そう 八木純子 一般社団法人コミュニティスペースうみねこ代表理事	・震災復興の検証問う ・障害児も普通学級に ・立場を超えて人形劇
10/19	乳がん患者をつなぐ Pink Ring 東北branch	被災地支援、細く長く継続 小川ゆみ 一般社団法人マザー・ウイング代表理事	・ミュージカル 映画に ・進路情報を多言語で ・薬物依存を考えよう
11/2	未来見据え新様式を 舞台芸術支援センター Hublabo Sendai	身近な自然で遊んで学ぶ 根本暁生 認定NPO法人冒険あそび場—せんだい—みやぎネット ワーク プレーリーダー・理事	・地下鉄で「逸品」巡り ・多彩な形で表現追求 ・薬物依存 理解深めて
11/16	温暖化 国内外で啓発 一般社団法人日本キリバス協会	地域協働 多様性が魅力育む 岩間友希 特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台ディレクター	・冬の渡り鳥を探そう ・気候変動 適応策学ぶ ・仕事の悩み話し、共有
12/7	性の悩みに寄り添う 特定非営利活動法人キミノナリ	世代間をつなぎ、志の継承へ 足立千佳子 特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム理事	・社会課題 向き合おう ・子育て体験談 演劇に ・手作り小物・菓子展示
12/21	幅広い連携 活動実る 宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク	連絡会を通じて情報共有続ける 塚本卓 一般社団法人気仙沼まちづくり支援センター代表理事	・宮城沿岸の民話紹介 ・動画作品を楽しんで ・路上生活者に支援を
2021/1/4	安心して語れる場を 東北大学 性について考えるサークル「AROW」	社会と向き合う若者に期待 西出優子 東北大学大学院経済学研究科教授	・仙台テーマに紙芝居 ・自死防く依存症対策 ・支援10年 活動を回顧
1/25	大人になる過程支援 NPO法人ほっぷすてっぷ	対コロナの空間づくり必要 豊嶋純一 NPO法人都市デザインワークス せんだいセントラルパ ーク専任	・地域と子ども考える ・SO宮城25年の歩み ・子どもの居場所掲載
2/8	地域と学生ら 支えに 中高生の居場所 kurutoながまち	文化芸術 多様な価値観育む 桜井育子 生涯発達支援塾TANE代表	・「短篇映画」楽しんで ・贈り物に福祉施設品 ・東北の未来 考えよう
2/22	東日本大震災10年(とびらを開く 拡大版) 居場所づくり 継続を 震災孤児・遺児への支援 一般財団法人学習能力開発財団®	—	・ヨガで震災復興支援 ・思い出の品 持ち主に ・被災者らの「声」募集
3/8	東日本大震災10年(とびらを開く 拡大版) 住民が主役 再建加速 地域と行政を結ぶまちづくり NPO法人都市デザインワークス、南蒲生地区町内 会、他	—	・ヨガで震災復興支援 ・思い出の品 持ち主に ・被災者らの「声」募集
3/22	困窮者自立 食で支え 一般社団法人フードバンクいしのまき	幅広い連携で支援の質向上 阿部知幸 東北フードバンク連携センター代表	・当事者同士 語り合い ・「香害」への考え共有 ・コロナ禍と女性 主題

□ 2020年4月8日～2021年3月22日 : 23回掲載

成果

- ・ウェブ系情報発信においては、災害時や緊急的なアクションの発信は、フェイスブックの拡散が効果的であった。
- ・河北新報夕刊「志民の輪」へ掲載した団体へ、読者からご寄付のお申し出があり、お取次ぎをさせていただいた。

課題

- ・PR戦略検討後の計画への落とし込みと体制の見直し
- ・ウェブサイトのリニューアルの検討
- ・編集体制の補強

備考

自主事業

II. 講師派遣・各種委員会等

■講師派遣等

2020年度に講師派遣を行った主な講座・研修会は以下のとおりです。

内容	主催	開催地	開催日	担当
震災復興支援イベント 3.11 from KANSAI2020	3.11fromKANSAI2020 実行委員会	大阪府	8/20	青木
令和2年度学びを支える人材育成推進事業 「生涯学習応用研修」～広報企画研修～	仙台市生涯学習支援センター	仙台市	9/18	松村
令和2年度岩沼市協働に関する職員研修会	岩沼市さわやか市政推進課	岩沼市	10/21	太田
みやぎ地域協働・人材支援システム研究会	宮城県（受託：一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム）	多賀城市	2021 1/19	中津
岩手県地域課題解決人材育成講座	宮古市（受託：NPO法人いわてNPOフォーラム21）	オンライン	2/12	榎田
令和2年度宮城県地域コミュニティ再生支援事業 地域力再生活動アドバイザー	宮城県震災復興・企画部地域復興支援課	宮城県内		榎田
自治会・町内会アンケートへのコメント	一般社団法人みやぎ連携復興センター	-	3月上～ 中旬	榎田

■各種委員会等

2020年度に委嘱等を受けた主な委員会は以下のとおりです。

委員会名	主催	任期	担当
宮城県民間非営利活動促進委員会 委員	宮城県 共同参画社会推進課	2019年12月1日～ 2021年11月30日	青木
宮城県民間非営利活動促進委員会 拠点部会委員	宮城県 共同参画社会推進課	2019年12月1日～ 2021年11月30日	青木
宮城県地域包括ケア推進協議会 コミュニティ・生活支援専門委員会	宮城県 長寿社会政策課	2017年4月1日～	青木
宮城県情報公開審査会 委員	宮城県 総務部県政情報・文書課	2020年10月1日～ 2022年9月30日	青木
みやぎボランティア総合センター 運営委員会 委員	社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会	2020年6月15日～ 2022年3月31日	青木
仙台市市民協働事業提案制度 プロジェクト検討会	仙台市 市民協働推進課	2016年4月1日～	青木
仙台市経営戦略会議 委員	仙台市 行財政改革課	2020年4月1日～ 2022年3月31日	青木

委員会名	主催	任期	担当
仙台市環境審議会 委員	仙台市 環境局環境部環境企画課	2020年4月1日～ 2022年3月31日	青木
仙台市役所本庁舎建設基本計画検討委員会 委員	仙台市 財政局本庁舎建替準備室	2018年12月5日～ 2020年7月	青木
仙台市市民文化事業団 理事	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2018年6月21日～ 2020年度定時評議員会	青木
「仙台市文化プログラム」事業 審査委員	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2017年11月1日～	青木
仙台市共同募金委員会 理事	社会福祉法人仙台市共同募金委員会	2018年4月1日～ 2020年3月31日	青木
名取市協働事業審査会 委員	名取市 男女共同・市民参画推進室	2019年11月1日～ 2021年10月31日	青木
みやぎ生協福祉活動助成金審査委員会委員	みやぎ生活協同組合	2018年3月21日～ 2020年3月20日	青木
東北ろうきん復興支援助成金制度選考委員会 選考委員	東北労働金庫	2016年10月27日～	青木
公益財団法人地域創造資金さなぶり評議員	公益財団法人地域創造資金さなぶり		青木
2020年度全労済地域貢献助成事業審査委員会 審査委員	全労済		青木
みやぎNPO情報公開システム運用協議会 平成31年度運営委員会委員	みやぎNPO情報公開システム運用協議会事務局	2019年4月1日～ 2020年3月31日	土佐
みやぎNPOプラザ運営評議会委員	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	2019年4月1日～ 2022年3月31日	青木
公益財団法人仙台市建設公社 評議員	公益財団法人仙台市建設公社	2020年3月19日～令和2(2020)年度事業に関する提示評議会終結時まで	青木
仙台市市民活動サポートセンター事務用ブース審査委員	仙台市 市民協働推進課	任期なし	太田
仙台市社会福祉協議会評議委員	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	2019年4月1日～ 2020年3月31日	太田
EPO東北パートナーシップ団体	東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)	任期なし	太田
地域社会活動・地域コミュニティ形成支援施設検討委員会委員	岩沼市 総務部復興創生課	任期なし	太田
いわぬま市民交流プラザ運営協議会委員	岩沼市 総務部さわやか市政推進課	2019年2月22日～ 2020年3月31日	太田

委員会名	主催	任期	担当
みやぎNPOプラザ事務室使用団体選考審査会 選考委員	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる		太田 中津
多賀城文化未来プロジェクト選考員	多賀城市文化センター	2016年7月17日～	中津
多賀城市都市計画審議会委員	多賀城市 建設部都市計画課	2018年8月1日～ 2020年7月31日	中津
多賀城市環境審議会委員	多賀城市 市民経済部生活環境課	2019年3月20日～ 2021年3月19日	中津
多賀城市シルバーワークプラザ 指定管理者評価委員会委員	多賀城市 保健福祉部介護福祉課	2017年8月22日～	中津
宮城高年齢者就労促進連絡会議	宮城労働局職業安定部職業対策課	2013年11月29日～	平野
仙台市市民文化事業団助成事業審査 会 委員	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2019年7月1日～ 2020年6月30日	松村

Ⅲ. 法人の運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

第22回通常総会

日 時：2020年6月14日（日）13：30～15：00

会 場：東京エレクトロンホール宮城 401 中会議室

出席者数：出席 23 名（内訳 会場 16 名 オンライン 7 名）

委任状 21 名 書面評決 5 名 合計 47 名

（定足数は、正会員の過半数。正会員数 70 名）

議 事：第 1 号議案 2019 年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の承認

第 2 号議案 2020 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の審議・決定

第 3 号議案 理事・監事の選任について

(2) 理事会の開催

年度内回数	通算回数	日時	主な内容
1	247	2020 年 5 月 12 日（火）	通常総会の開催方法について、理事改選について 報告事項
2	248	6 月 14 日（日）	通常総会の議事について、会員入退会の承認について、その他、報告事項
臨時	—	6 月 14 日（日）	代表理事の互選
3	249	8 月 24 日（月）	中長期計画の進捗と次期に向けての検討、報告事項
4	250	10 月 22 日（木）	会員入退会について、評議員会関連、理事候補の検討、中長期計画の進捗と次期計画づくりの準備、その他、報告事項
5	251	2021 年 1 月 25 日（月）	会員入退会について、評議員会関連、理事候補の打診の進捗、次期総会に向けて、定款変更について、その他、報告事項
6	252	3 月 19 日（金）	2020 年度事業決算見込み、2021 年度予算の方向性、「せんだい・みやぎソーシャルハブ」、三者協定の今後について、報告事項

※2021年3月31日現在／理事・監事・顧問・参与（順不同、敬称略）

代表理事（2名）：土佐昭一郎 渡邊一馬

理 事（8名）：大滝精一 石井山竜平 大橋雄介 齋藤和人 白木福次郎 高橋由佳 原亮
青木ユカリ（常務理事）

監 事（3名）：沼倉雅枝 長谷川公一 茂木宏友

顧 問（2名）：川村志厚 山田晴義

参 与（1名）：江幡正彰

(3) 評議員会

当初 2021 年 2 月開催を予定していたが開催を見送った。

(4) 会員について

2020年3月期：会員数 116人・団体

2021年3月期：会員数 105人・団体

(5) 事務局について

① 人員体制 (2021年3月31日現在)

○せんだい・みやぎNPOセンター本部事務局 (仙台市青葉区国分町)

代表理事：土佐昭一郎 渡邊一馬

事務局長：青木ユカリ

常勤職員：鶴巻さやか

派遣職員：今村順子

○仙台市市民活動サポートセンター (仙台市青葉区一番町)

センター長：太田貴

副センター長：菅野祥子、松村翔子

常勤職員：松田照子、水原のぞみ、堀隆一、鈴木美紀、小田嶋くるみ、大坪晃亮、
伊藤佐知子

非常勤職員：小林正夫、橋本昭正、于楽、宮崎真央、舞草小春、矢野則子、嶋村威臣、
平野昭

シアター業務委託スタッフ：本儀拓、山澤和幸

○多賀城市市民活動サポートセンター (多賀城市中央)

センター長：中津涼子

副センター長：櫛田洋一

常勤職員：川口葉子、齋藤裕之、小林雅子、西城香織、奥村志都佳、金子明日香、
勝井万智、小笠原弘幸、鈴木郁弥

非常勤職員：渡辺剛、浅野美幸

② 会議

<管理職会議>毎月1回程度

参加者：常務理事、事務局長、サポートセンター正副センター長

代表理事：オブザーバー参加

内容：本部、サポートセンター業務や事業における情報共有、事業や運営
に関する事項の検討など

実施：毎週火曜日開催、12回実施した。

2020年4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、
10月20日、11月17日、12月15日、2021年1月19日、2月16日、3月16日

<センター会議>

参加者：全職員、事務局長、内容に応じて代表理事も参加

内 容：本部からの報告、各事業別報告や情報共有、スタッフ研修など

実 施：3回実施した。

2020年9月23日（水）、12月23日（水）、3月24日（水）

価値規範ワークショップ 講師：山元圭太氏（合同会社喜代七 代表）

※その他、各拠点において全体ミーティング、ケースミーティング、班およびチームミーティング、所管課との四半期ミーティングを開催した。

<スタッフ面談>

参加者：常務理事、事務局長、職員

内 容：2回開催した。その他、個別状況に応じて常務理事、事務局長、サポートセンター正副センター長と職員との面談を重ねて対応した。

2020年7月9日（木）～21日（火）：新年度体制に関すること

11月30日（月）～12月25日（金）：次年度に向けての意向確認等

今後のキャリア志向や問題意識など

(6) 職員研修

外部研修への参加を促し、積極的に交流も図っていった。

研修名、等	主催	日程	参加
NPOサポートリンク勉強会	NPOサポートリンク	2020年 6月25日（木）	1名
NPO支援センター初任者研修	日本NPOセンター	9月4日（金）、 16日（水）	6名
日本駆け込み寺仙台支部復活・再起動記念講演会	日本駆け込み寺	9月6日（日）	1名
プロのジャーナリストに学ぶ書き手講座	Yahoo!基金	8月20日（木） 9月8日（火）	3名
企画立案のプロセスを学ぶ 動画講座	NPOサポートリンク Yahoo!基金	9月16日（水） 9月18日（金）	2名 2名
プロのジャーナリストに学ぶ書き手選抜講座	Yahoo!基金		1名
NPOと行政の対話を促進するための連続講座	日本NPOセンター	9月25日（金）、 10月16日（金）	1名
助成金オンライン説明会	地球環境基金	10月29日（木）	1名
助成財団シンポジウム	NPO支援財団研究会	10月30日（金）	1名
コロナ時代に私たちができるアクションとは？	コミュニティ・オーガナイズング・ ジャパン、Change.org Japan	11月7日（土）	1名
市民公開講座「障害がある方との共創デザイン」	東北工業大学地域連携センター	11月21日（土）	1名
共生社会社会教育研修	宮城県	11月26日（木）	1名
みやぎNPOプラザフォーラム	宮城県（みやぎNPOプラザ）	12月13日（日）	3名
山岡義典氏に訊く	国立民族学博物館出口正之研究室	2021年 1月19日（火）	3名
宮城県内支援センター研修	宮城県（みやぎNPOプラザ）	1月22日（金）	1名
NPO支援施設フォローアップ事業人材育成研修	宮城県（みやぎNPOプラザ）	2月25日（木）	1名
災害要配慮者を支えるリーダー養成研修	大阪ボランティア協会	3月22日（月）	1名
宮城県の人間の安全保障指標発表会	人間の安全保障」フォーラム	3月23日（火）	1名
東北学院大学本間照雄特任教授最終講義 『「関わり合い向き合う」ことが拓く新たな地平』	東北学院大学	3月26日（金）	1名

IV. 2020年度 決算報告書

- 活動計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 計算書類の注記、事業費の内訳
- 監査報告書

活動計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	1,040,000		
賛助会員受取会費	415,000	1,455,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,806,811	1,806,811	
3. 事業収益			
事業収入	2,358,044		
仙台市SC指定管理	90,203,826		
多賀城市SC委託	37,895,460	130,457,330	
4. その他収益			
受取利息	412		
雑収入	23,258	23,670	
経常収益計			133,742,811
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	78,781,378		
法定福利費	11,810,696		
通勤費	3,491,903		
福利厚生費	322,492		
人件費計	94,406,469		
(2) その他経費			
期首棚卸高	50,481		
合計	50,481		
期末棚卸高	△ 49,581		
売上原価	900		
業務委託費	3,919,213		
諸謝金	853,117		
印刷製本費	1,526,927		
打合会議費	14,994		
旅費交通費	86,213		
車両費	14,998		
通信運搬費	2,069,266		
消耗品費	1,877,653		
広告宣伝費	194,364		
保守・修繕費	3,315,411		
水道光熱管理費	8,506,842		
地代家賃	1,871,234		
減価償却費	41,842		
保険料	46,169		
諸会費	105,600		
租税公課	104,220		
支払手数料	377,241		
資料収集費	310,378		
外注費	5,582,181		
リース代	3,259,588		
会場費	173,761		
スタッフ研修費	41,199		
雑費	165,113		
その他経費計	34,458,424		
事業費計		128,864,893	

活動計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	435,600		
人件費計	435,600		
(2) その他経費			
打合会議費	1,713		
通信運搬費	11,178		
地代家賃	67,967		
支払手数料	6,933		
会場費	10,272		
その他経費計	98,063		
管理費計		533,663	
経常費用計			129,398,556
当期経常増減額			4,344,255
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			4,344,255
法人税、住民税及び事業税			72,000
当期正味財産増減額			4,272,255
前期繰越正味財産額			38,055,384
次期繰越正味財産額			42,327,639

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	53,011,516		
未収金	11,488,210		
棚卸資産	49,581		
前払費用	25,300		
立替金	196,134		
流動資産合計		64,770,741	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	849,600		
長期前払費用	20,041		
投資その他の資産計	869,641		
固定資産合計		869,642	
資産合計			65,640,383
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,752,168		
未払消費税等	3,275,300		
未払法人税等	72,000		
賞与引当金	7,260,911		
預り金	2,952,365		
流動負債合計		23,312,744	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			23,312,744
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		38,055,384	
当期正味財産増減額		4,272,255	
正味財産合計			42,327,639
負債及び正味財産合計			65,640,383

財 産 目 録

令和 3年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
【流動資産】			
(現金)			
本部		73,397	
仙台SC		69,963	
多賀城SC/コピー機		55,000	
多賀城SC		98,154	
(現金) 合計		296,514	
(預金)			
仙台銀行/中央通支店	普通預金 4094031	36,324,837	
仙台銀行/中央通支店	普通預金 4094034	11,877,331	
仙台銀行/中央通支店	普通預金 4094035	100	
社の都信用金庫/中央支店	普通預金 3055278	4,406	
東北労働金庫/本店	普通預金 5543919	258,634	
東北労働金庫/本店	普通預金 5823126	2,047,498	
(預金) 合計		50,512,806	
(郵便)			
郵便振替	02260-3-16325	2,202,196	
(郵便) 合計		2,202,196	
(未収金)			
	多賀城市市民活動サポートセンター運営等業務委託料1~3月分	10,421,250	
	その他	1,066,960	
(未収金)合計		11,488,210	
(棚卸資産)			
書籍		49,581	
書籍 計		49,581	
(前払費用)			
	(公財)せんだい男女共同参画財団他 /会場費他	25,300	
	前払費用 計	25,300	
(立替金)			
	概算雇用保険料	193,734	
	SSC非常勤 本儀/住民税・みんな立替	2,400	
	立替金 計	196,134	
流動資産 合計		64,770,741	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品		1	
有形固定資産 計		1	
(投資その他の資産)			
敷金		849,600	
敷金 計		849,600	
	あいおいニッセイ同和損害保険㈱/長期火災保険	20,041	
	長期前払費用 計	20,041	
固定資産 合計		869,642	
資産の部 合計			65,640,383
II 負債の部			
【流動負債】			
(未払金)			
	人件費	9,752,168	
	社会保険料	(4,162,039)	
	水道光熱費	(880,671)	
	水道光熱費	(796,045)	
	外注費	(495,000)	
	その他	(3,418,413)	
	未払消費税等	3,275,300	
	未払法人税等	72,000	
	賞与引当金	7,260,911	
(預り金)		2,952,365	
	報酬源泉所得税	(13,537)	
	雇用保険料	(212,219)	
	みんな本体ファンド	(2,511,505)	
	多賀城SC利用者預り金	(7,200)	
	多賀城SC利用者コピー料金回収	(5,000)	
	あじさい基金	(202,904)	
流動負債 合計		23,312,744	
【固定負債】			
固定負債 合計		0	
負債の部 合計			23,312,744
正味財産			42,327,639

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は別表の通りです。

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	1,777,140	0	0	1,777,140	△ 1,777,139	1
合計	1,777,140	0	0	1,777,140	△ 1,777,139	1

事業費の内訳

(単位:円)

	定款 (1)	定款 (2)	定款 (3)	定款 (4)	定款 (5)	定款 (6)	定款 (7)	事業費合計
	人材の発掘・育成	相談とコーディネ	マネージメントサ	ネットワーキング	調査研究及び政	情報サポート	施設運営	
従事者の人数(実施した人数)	7	5	3	5	4	8	38	70
受益対象者の範囲	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	主に仙台・多賀城の市民	
受益対象者の人数	300	250	200	500	200	60,000	73,000	134,450
給料手当	379,518	972,000	75,600	75,600	75,600	1,025,560	76,177,500	78,781,378
法定福利費	0	0	0	0	0	0	11,810,696	11,810,696
通勤費	0	0	0	0	0	0	3,491,903	3,491,903
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	322,492	322,492
人件費計	379,518	972,000	75,600	75,600	75,600	1,025,560	91,802,591	94,406,469
売上原価	0	0	0	0	0	900	0	900
業務委託費	0	0	0	0	0	0	3,919,213	3,919,213
諸謝金	0	0	0	0	0	74,383	778,734	853,117
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	1,526,927	1,526,927
打合会議費	0	500	0	0	0	0	14,494	14,994
旅費交通費	5,236	545	191	20,736	0	3,574	55,931	86,213
車両費	1,091	1,527	0	0	0	6,246	6,134	14,998
通信運搬費	545	0	0	0	1,436	29,050	2,038,235	2,069,266
消耗品費	0	0	0	0	0	0	1,877,653	1,877,653
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	194,364	194,364
保守・修繕費	0	0	0	0	0	0	3,315,411	3,315,411
水道光熱管理費	0	0	0	0	0	0	8,506,842	8,506,842
地代家賃	16,993	16,992	16,992	16,992	16,992	16,992	1,769,281	1,871,234
減価償却費	0	0	0	0	0	0	41,842	41,842
保険料	0	0	0	0	0	0	46,169	46,169
諸会費	0	0	0	0	0	0	105,600	105,600
租税公課	1,820	0	0	0	0	200	102,200	104,220
支払手数料	0	600	0	0	300	1,400	374,941	377,241
資料収集費	0	0	0	0	0	0	310,378	310,378
外注費	0	0	0	0	0	1,118,182	4,463,999	5,582,181
リース代	0	0	0	0	0	0	3,259,588	3,259,588
会場費	0	0	3,554	9,354	0	5,090	155,763	173,761
スタッフ研修費	0	0	0	0	0	0	41,199	41,199
雑費	0	0	0	0	0	90,000	75,113	165,113
その他経費計	25,685	20,164	20,737	47,082	18,728	1,346,017	32,980,011	34,458,424
事業費合計	405,203	992,164	96,337	122,682	94,328	2,371,577	124,782,602	128,864,893

2020年度 監査報告書


特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事 渡 邊 一 馬 様

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの決算について監査を行いました。

監査の方法として、重要な会議の議事録その他重要書類を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、合理的な保障を得るための手続きを実施いたしました。

監査の結果、2020年度の特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの決算については適正なものと認めます。

2021年 6 月 1 日

監 事 長谷川 公一 

監 事 茂木 宏友 

監 事 沼倉 雅枝 